

健康経営に取り組む目的

当社が健康経営に取り組むにあたり、解決したい経営上の課題・期待する効果は次の通りです。

<経営上の課題>

今後も当社が企業理念の1つである、「地域に住まう方々のライフをすまいるに」を実現するため

- ①従業員一人ひとりが健康でいつも明るい笑顔でいられる
- ②自身の能力や才能を最大限発揮できる
- ③ワークライフバランスを実現しながら働き続けることができる

以上の課題・目標に対して、経営層や従業員をはじめ、健康保険組合と協力をして健康経営を推進し、この課題解決に取り組めます。

<期待する効果>

健康経営の推進により、健康診断後の有所見率の低下に期待しています。

当社の従業員平均年齢は2024年度末で49.8歳、健保全体と比べて+8.5歳、年齢上昇は+0.6歳高く、加齢に伴う有所見リスク、病気や手術に伴う従業員のプライベートな時間の減少・金銭的負担の増加で、生活の質低下が心配されます。

今後、様々な健康投資を通じて、有所見率を2026年度までに50.0%(2024年度51.9%)とし、従業員が健康で長く働き続けられるよう取り組みます。

具体的な取り組みとして、有所見の従業員には健診前の行動変容を目的に、保健師による面談・健診までの目標設定を行い、フォローしています。

また、新規有所見者を防止するため、全従業員へ”トヨタすまいるヘルスアップチャレンジ”として、生活習慣改善の取り組みメニューを用意、参加賞の用意等、1つでも多く取り組んでもらえる工夫をしています。

<経営方針と健康経営推進方針との関係>

当社の掲げる経営方針の1つ【住まいと暮らしをより楽しく、充実したものにするために役立つ商品・サービスの提案・提供により、お客様の生活の豊かさ向上に寄与します】これをを実現するためには、まず従業員一人ひとりが”笑顔(すまいる)”であることが重要です。従業員が健康で不安なく笑顔のあふれる職場で働くことができる、これを健康経営の方針とし、様々な健康課題を解決しながら、健康経営を推進します。

<健康経営に対する想い>

私自身、過去に大きな病気になって1か月ほど会社を休んだことがあります。

検査を何度も受けて辛い思いをし、家族に心配をかけ、改めて「健康が一番大事だな」と痛感しました。仕事(会社)と生活(家庭)が両立できてこそ、充実した人生を送れると思います。

トヨタすまいるライフを、安全・健康意識が高く、いつも皆が明るい笑顔でいられる会社にしましょう。

2025年4月1日

トヨタすまいるライフ株式会社 代表取締役

近藤 浩司

トヨタすまいるライフ(株) 戦略マップ

